

ありあけ



特集 東日本大震災から5年

俺たちはヒーローなんかじゃない

荒尾・玉名地域広報振興協議会合同特集

Arao - Tamana Regional Public Relations Promotion Council
合同特集

婚活の三カ夕

撮影協力・荒木写真館 (和水町)



①あらかたま婚活学園入学式。参加者みんなで校歌斉唱。②「学活」での1対1トークタイムではプロフィールを交換。③「家庭科」では地元老人会の人と給食作り。④「社会」での竹灯籠作り。男女一緒に竹を切りました。⑤「ホームルーム」ではついに告白タイム。



メディアも大注目!

あらかたま婚活学園

県内初となる廃校を活用した婚活イベント「あらかたま婚活学園」を3月6日に、元神尾小学校（和水町）で開催しました。授業スタイルで地域の特色を生かしたイベントに、たくさんメディアから注目されました。

婚活×地域の宝 8 町



荒尾・玉名地域広報振興協議会合同特集

荒尾・玉名地域広報振興協議会合同特集

婚活の三カタ

サポートセンターは平成22年に設立されました。現在、入会者は約1500人。これまでの会員の成婚・婚約数は30組で見合いのセッティングは900組にのびります。結婚への悩みを抱えている皆さんが結婚に向かうことができるように、スタッフがサポートします。どうぞ気軽にお越しください。 荒尾・玉名地域結婚サポートセンター (0968)78・2543

「出会いがない」「はずかしい」「異性と話ができない」「こんな悩みはありませんか。」「荒尾・玉名地域結婚サポートセンター」では、結婚相談やお見合いのセッティング、婚活イベントの開催をしています。 悩みを抱える皆さんをスタッフがサポート

荒尾・玉名地域広報振興協議会 自治体の枠を超え婚活をPR!

有明管内の2市4町の広報担当者による「荒尾・玉名地域広報振興協議会」では、婚活についての合同特集を制作しました。スタッフや会員で結婚した夫婦へのインタビュー、ロアツ熊本のサポートセンター突撃取材など、盛りだくさんの内容となっています。



▲今回作成した特集の紙面。有明管内の2市4町の4月号の広報紙に掲載されています。



平成28年度 荒尾・玉名地域結婚サポートセンター婚活イベント予定

月	タイトル	場所	資格	内容
4月	ボウリングde婚活	荒尾市	35歳～50歳	みんなで楽しくボウリング
5月	サークルコン ～カラオケ部～	和水町	25歳～40歳	歌うの大好き! 聞くの大好き!
6月	居酒屋合席コン	玉名市	30歳～45歳	完全フリータイムの合席コン
7月	ゆったりcaféコン	長洲町	38歳～50歳	おしゃれなカフェでゆったりトークタイム
8月	サークルコン ～ビーチバレー部～	南関町	20歳～35歳	初心者大歓迎!
9月	ゆったりcaféコン	玉東町	50歳～65歳	会話を楽しみながらティータイム

3 職員の勤務時間その他勤務条件の状況(平成26年度)

①勤務時間、休憩、週休日などの状況

区分	勤務時間	休憩時間	週休日
日勤職員	8:30~17:15	12:00~13:00	土・日曜日
隔勤勤務職員	8週間を平均し1週間当たり38時間45分で、1日16時間勤務 8:30~翌日8:30		8週間で16日

②休暇制度の概要

- 年次有給休暇=年20日付与
- 病欠休暇=必要と認められる期間
- 特別休暇(主なもの)=ボランティア休暇(年5日以内)
- 結婚休暇(5日以内)
- 産前休暇(6週間)
- 産後休暇(8週間)
- 忌引休暇(1~7日)
- 看護休暇(年5日以内)
- 夏季休暇(3日)
- 介護休暇(最大6ヶ月以内)

4 職員の分限処分と懲戒処分の状況(平成26年度)

①分限処分 = 0件

②懲戒処分 = 0件

5 職員のサービスの状況(平成27年度)

地方公務員には、全体の奉仕者として守らなければならない義務が次のとおり定められています。

- 職務命令に従う義務
- 信用及び名誉を守る義務
- 秘密を守る義務
- 職務に専念する義務
- 一定の政治行為を行わない義務
- 争議行為を行わない義務
- 営利企業の従事制限

6 職員の研修と勤務成績の評価状況(平成26年度)

①研修の実施状況

(事務局)
 熊本市町村研修協議会 = 13名
 市町村アカデミー = 1名
 ※消防本部の研修実施状況については、有明消防HP上の消防年報に掲載してあります。
<http://www.ariake-119.or.jp/>

②職員の勤務成績の評定状況

●勤務成績の評定状況 = 全職員実施

7 職員の福祉と利益の保護の状況(平成27年度)

①職員の福祉の状況

●職員の定期健康診断 = 241人(受診率100%)

②公務災害の発生状況 = 1件

③職員の利益保護の状況

●職員への不利益処分に対する不服申立 = 0件(事務委託している熊本県公平委員会の報告)

8 その他(平成27年度)

(単位:円)

区分	代表理事(年額)	副代表理事(年額)	理事(年額)	識見監査委員(年額)	議選監査委員(年額)	議長(年額)	副議長(年額)	議員(年額)	介護認定審査会委員 障がい者総合支援審査会委員(日額)
報酬額	130,000	125,000	120,000	26,000	15,000	120,000	114,000	108,000	16,500

平成26年度 情報公開、個人情報保護の運用状況

情報公開条例の運用状況は次のとおりです。

請求日	請求者	実施機関	開示等決定日	開示内容	開示方法
1 4月2日	個人	代表理事	4月8日	一部開示	写しの交付
2 4月4日	個人	代表理事	4月10日	全部開示	写しの交付
3 4月16日	個人	代表理事	4月25日	一部開示	写しの交付
4 6月18日	個人	代表理事	6月18日	全部開示	写しの交付
5 8月7日	個人	代表理事	8月19日	一部開示	写しの交付
6 12月10日	個人	代表理事	12月12日	全部開示	写しの交付

個人情報公開の運用状況は次のとおりです。

請求日	請求者	実施機関	開示等決定日	開示内容	開示方法
1 6月4日	法人	代表理事	6月11日	一部開示	写しの交付
2 11月21日	個人	代表理事	11月25日	全部開示	写しの交付
3 3月11日	個人	代表理事	3月25日	一部開示	写しの交付

有明広域行政事務組合職員の人事給与の状況について

組合の職員数や給与、勤務条件などの概要を次のとおり公表します。
 ※詳細は、事務局総務課総務係 ☎(0968)72-5885 へお尋ねください。

1 職員の任免と職員数の状況

(単位:人)

①職員数の状況(各年4月1日現在)

区分	平成26年度(A)	平成26年4月2日~平成27年4月1日		平成27年度(D) (A)-(B)+(C)
		退職(B)	採用(C)	
一般行政部門	35	1	2	36
技能労務職部門	2	0	0	2
消防行政部門	201	6	8	203
計	238	7	10	241

②退職者の状況(平成26年度)

区分	退職者数
定年退職	5
勸奨退職	1
その他	1
合計	7

※定年退職とは、年齢が満60歳に達した者の退職

③職務上の地位別職員数の状況(各年4月1日現在)

区分	職員数(人)					
	平成26年			平成27年		
	一般行	消防	技能	一般行	消防	技能
事務局長・消防長級	2	1	0	2	2	0
課長級	4	6	0	5	6	0
課長補佐級	5	27	0	3	26	0
係長級	13	43	0	15	44	0
その他職員	11	124	2	11	125	2
計	35	201	2	36	203	2

④部門別職員数の状況(各年4月1日現在)

区分	職員数(人)		対前年増減数
	平成26年	平成27年	
総務部門	14	15	1
民生部門	4	4	0
衛生部門	19	19	0
消防部門	201	203	2
計	238	241	3

2 職員の給与の状況

①職員給与費の状況(平成26年度決算)

(単位:千円)

区分	職員数(A)	給与費			1人当たりの給与費(B)/(A)
		給料	職員手当	計(B)	
一般行政	238	791,634	521,454	1,313,088	5,517

※職員手当には退職手当は含まれません。

②職員の平均給料月額、平均給与月額と平均年齢の状況

(単位:円)

区分	一般行政職・技能労務職・消防職		
	給料	給与	平均年齢
平成27年4月1日現在	279,055	305,708	37.47歳

※給与(給料・扶養手当・住居手当・通勤手当)

③職員手当などの状況(平成27年4月1日)

区分	内 容			
扶養手当	扶養親族のある職員に支給		国の制度と同じ	
通勤手当	通勤距離が片道2km以上で、自動車などを利用して通勤する職員に支給		国の制度と同じ	
住居手当	借家に居住する職員に支給		国の制度と同じ	
単身赴任手当	単身で赴任する場所が60km以上である職員に対して支給		国の制度と同じ	
期末・勤労手当	支給月	期末	勤勉	合計
	6月期	1.225月分	0.750月分	1.975月分
	12月期	1.375月分	0.750月分	2.125月分
	計	2.60月分	1.50月分	4.10月分
国の制度と同じ				

区分	内 容		
特殊勤務手当	○現場作業手当(1日:200円)		
	○特殊作業手当(1回:1,000円)		
	○消防活動手当(1回:200円)		
	○救急搬送手当(1回:管轄内150円) (1回:管轄外500円)		
	○特殊有技手当(1月:1,000円)		
	○特殊車作業手当(1回:250円)		
退職手当	○潜水作業手当(1時間:200円)		
	○夜間特殊業務手当 (1回:410円から780円内で支給)		
	対象者	自己都合	定年・早期
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.590月分	
最高限度	49.590月分	49.590月分	

熊本県総合事務組合と同じ



東日本大震災から5年

消防士が観た絶望の中の希望の光

俺たちはヒーロー なんかじゃない

平成23年3月11日(金)午後2時46分ごろ、東北地方の三陸沖を震源とする東日本大震災が、発生。観測史上最大規模となる震度7を記録。東日本に甚大な被害をもたらした。

発生直後からテレビやラジオ、インターネット上に刻々と変わりゆく被災地の状況がライブで伝えられ、まるで映画のワンシーンのような情景に人々は混乱し、不安や悲しみをいだき、憂いだ。それは、消防隊員も同じであった。

東日本大震災での被害

死者	15,865名
行方不明者	7,016名
全壊・半壊	221,451棟
一部損壊	445,163棟

政府緊急災害対策本部発表
(平成23年7月7日現在)



地震発生から出動要請

現在、消防本部総務課に勤務する西村澄生司令補は、震災当日を振り返る。東日本大震災が発生した平成23年度は、熊本空港に隣接する「熊本県防災航空隊」へ副隊長として出向していた。3月11日は、非番(休み)であったため、4日後に迫っていたホワイトデーのプレゼントを購入し、妻の喜ぶ笑顔を思い浮かべながら自宅へと帰り、プレゼントを置き単身赴任先へ出かけた。いつもと変わらない日常。航空隊からの電話が鳴った「急いでテレビを観ろ」。テレビをつけ、飛び込んできた光景にただごとではないことを察した。電話で「国からの要請で、もしかしらら出動要請が入るかもしれない」という事を知り、いてもたってもいられず、急いで航空センターへ向った。出動要請がいつあってもいいように準備に取り掛かった。震災発生から1時間30分後の午後4時ごろ国からの緊急消防援助隊としての要請が入る。午後5時過ぎに準備を終え被災地に向けて出発。九州で同

使命感と不安

和歌山県の南紀白浜空港を経由し、埼玉の航空隊へ。翌3月12日山形空港に設置された本部に向かった。そこで、熊本県隊は宮城県石巻市周辺の情報収集に向かうように、指示された。現地に向かう途中、同乗する隊員達と想定される精一杯のイメージトレーニングを行った。しかし、現状はあまりに悲惨なものだった。みんな言葉を失った。誰もが言葉を交わすことを忘れ地上で起きている光景が、自分達のこれまでの経験や想定をはるかに上回っていた。機体の高度を下げると地上から助けを求める人達が数多く目の中に飛び込んできた。映像では感じる事の出来ない、「音」や「匂い」を感じ、胸の中にこみ上げてくる感情をおさえきれず無線を握り隊長に連絡した「情報収集も行うが助けを求めている人を見過ごし情報収集だけで帰還する

ことは出来ない。救出させてください」本部からは「現場判断に任せる」との返事。無我夢中で救助にあたった。限られた燃料と限られた時間の中、「寒さと孤独、不安の中にいる被災者を少しでも早く救いたい。」それは、職場の上司や同僚達の「自分達の分まで頑張ってくれ」という熱き想いと消防士としての使命感だった。隊員達は必死で救助を行った。日没近くになり、これ以上の救助活動は難しいとされると、津波によりあたり一面水没し、がれきと化した町並みの中で、救助を心待ちにしている人達に向かって、声を震わせながらマイクを握りしめ叫んだ「明日また必ず来ます。それまで絶対に生きていてください」助けたい気持ちと不甲斐なさを噛みしめながら山形へ戻った。

したお年寄りの話し相手になったり「小さな子ども達の遊び相手になったり」しているとのことだった。それから熊本県隊は被災者を救出しては、生徒達の所へと運ぶという連携を行った。「本当にありがたい。感動した」自分の家や家族がどうなっているかも分からないのに、皆の役に立つことを真っ先に考え行動している。勇気づけられた。生徒達と「一人でも多くの人を助けてくるから一緒に頑張ろう」と誓い合った。熊本県消防航空隊が3月12日〜16日までの5日間で救った救助者数は、79名にのぼる。

3月12日被災地に到着した。ヒッチバックという被災場所から安全な場所へ被災者を移動させる方法を取っていたところ、生徒達が近寄ってきて「手伝います」「救助された人達を私達が避難所まで連れていきます」と声を掛けてきた。話しを聞くと地震発生から2日目を迎えているのに家にも帰らず学校のクラスみんな、自分達に出来ることは何かを考え「被災

中学生達との友情

派遣期間の7日間必死になって救助を行った。被災地で一番印象に残っていることはと聞かれ「中学校の生徒達です」と答えた。

3月12日被災地に到着した。ヒッチバックという被災場所から安全な場所へ被災者を移動させる方法を取っていたところ、生徒達が近寄ってきて「手伝います」「救助された人達を私達が避難所まで連れていきます」と声を掛けてきた。話しを聞くと地震発生から2日目を迎えているのに家にも帰らず学校のクラスみんな、自分達に出来ることは何かを考え「被災

仲間との絆

有明広域消防本部からは平成23年6月6日の緊急消防援助隊の活動終了までの期間延べ約30名が陸上部隊として被災地で活動した。これは、有明広域消防本部の消防士約200名のうちおよそ7人に1人は出動したことになる。ただ、2交代制で荒尾・玉名地域住民の安心、安全な暮らしを支える消防隊員が被災地へ派遣されるといことは、その分を他の隊員がカバーすることになる。被災地で救助活動を行った隊員が称賛され取り上げられる一方で、地元に残り出動した隊員のカバーをしながら支えあっていた隊員達もいたことを忘れてほしくない。

①② 捜索活動 ③ 消防車に書かれた文字 ④ 被災地へ向かう消防車の車列 ⑤ 航空隊による救助活動
⑥ 宿営地の様子 ⑦ 避難所の子ども達 ⑧ 被災地の上空 ⑨ 航空隊に救助された人達 ⑩ 隊員に寄せられた手紙と写真

新型の化学消防車が配備

非常に危険で火災拡大が予想される危険物施設や可燃物施設の火災の場合、水をかけると逆に火の勢いが強くなってしまふことがあり、そのような火災に対応し、最大の効力を発揮できる能力や装備を兼ね備え、泡消火剤を使用した消火活動ができる新型の化学消防車が平成28年1月28日、玉名消防署に配備されました。これにより、管内における消防体制の一層の充実強化が図られました。

この車両は、管内で発生した災害対応はもちろんですが、管外で大規模な災害が発生した場合等も県内相互応援や緊急消防援助隊として応援出動します。

車両の主な性能について

- 排気量 6,400cc
- 形状 5.5t級低床 4輪駆動（フルタイム4WD）
- 外観 シャッター式を採用し、多くの資機材を安全に収納できるようになっています。
- 水槽 500Lの泡消火薬剤槽（2分割槽）を設け、水量は最大1,550L積載。
- 機装 操作性に優れ、車両上部に放水銃（発砲ノズル）を設け、火災対象物より離れた場所からも大容量の泡消火剤を放出し消火することができます。
車両上部に2基のはしごを積載し、後部にはホース延長用のホースカーが搭載されています。



第5回 緊急消防援助隊 全国合同訓練



**東日本大震災での
緊急消防援助隊の応援状況**

派遣人員総数 28,500名
救助者数 4,614名
被災地域3県を除く44都道府県が出動
(平成23年5月16日現在)

住宅防火のポイント

平成26年に全国で発生した火災は43,741件で、そのうち建物火災は23,641件となっています。また、火災により1,678人ももの尊い命が奪われています。

住宅火災から大切な命や財産を守るため、我が家の防火チェックを行いましょう。

① タバコ火災対策

- ①寝たばこはしない。
- ②灰皿に吸い殻をためない。
- ③吸い殻は一度水にさらしてから捨てる。



② ストープ火災対策

- ①外出時や寝る時は必ず火を消す。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③ストーブの近くにスプレー缶等を置かない。
- ④必ず火を消してから給油する。
*電気ストーブも火災の原因となります。



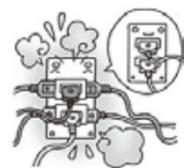
③ コンロ火災対策

- ①コンロの周りに燃えやすいものを置かない。
- ②調理中はその場を離れない。
- ③換気扇やグリルはこまめに清掃する。



④ 電気コード・コンセント火災対策

- ①たこ足配線をしない。
- ②コードの上に重いものをのせない。
- ③差し込んだままのプラグは時々清掃する。
- ④コードは束ねて使用しない。



⑤ 放火対策

- ①家の周りに燃えやすいものを置かない。
- ②空き家や物置は施錠する。
- ③ゴミは収集日に出す。



*平成23年6月1日より、すべての住宅の就寝室や就寝室のある階の階段天井または、壁面に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

阪神・淡路大震災に学んだ 緊急消防援助隊

東日本大震災が発生した時、テレビや新聞などで自衛隊や警察官そして、消防隊員の被災地での救援活動などが取り上げられた。全国の消防本部から被災地へ迅速に駆けつけられたのは、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災での教訓からであった。死者6千434名を出し、それまで想定されていた以上の未曾有の災害に各地域の消防本部は、面々に避難出動に向かった。しかし、情報量も少なく統制も機能していない中での出動は「苦しんでいる人を助きたい」という気持ちだけがひた走り、焦りの中での出動は、かえって被災地を混乱させるだけだった。政府は、その教訓を踏まえ、今後大規模災害などで被災した都道府県内の消防力では困難な場合に、国家的観点から人命救助活動などを効果的かつ迅速に対応し、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため平成7年6月に「緊急消防援助隊」が創設され、その後、全国の消防本部が集結し、地震などを想定した大規模な合同訓練が開催されるようになった。その結果東日本大震災発生時も迅速な救助活動につながった。消防本部もこの合同訓練に第1回目から参加している。

追丸隊長は、前回の訓練に続き今回で2回目の参加となった。ただし、前回は隊長としての参加であったが、今回は、隊長という事で不安も感じたという。全国から600隊（約2200人）過去最大規模の訓練が実施された。国からの応援要請が消防本部へ入り、その後、部隊を集め準備を行い現地へ向かう。現地に着くとまず行われるのが、宿営訓練という作業。テントや炊事場の確保をし、実動訓練に入った。実動訓練では、被災場所の状況など一切を非公開として行われ現地に着くまで何もわからない状況からのスタートで行われる。追丸隊長は、今回の訓練に参加して、直下型地震に伴うビル座屈・地下街崩落事故などの緊張感のある訓練で各県の緊急消防援助隊間のスムーズな連携活動を図ることができた。「いつ」「いかなる場所か」といふような災害や事故が発生するかわからない。住民の安心・安全を守るためにも、自分自身がさらに訓練を積み重ねるとともに、伝えていくことが大事だと思うと振り返った。



有明広域行政事務組合 一般会計歳入歳出

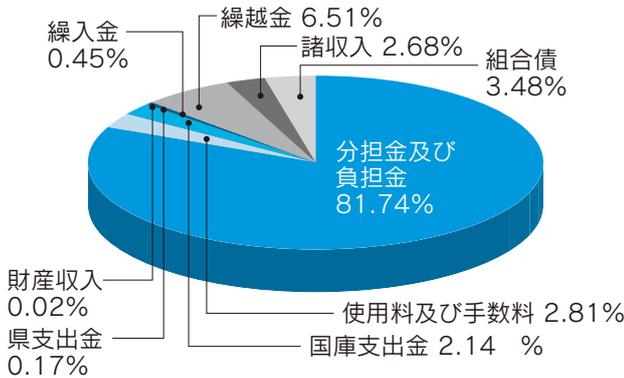
平成26年度

決算

一般会計決算は歳入が44億588万円、歳出が41億5,069万円で差し引き額が2億5,519万円となりました。そのうち6,768万円が平成27年度に行う事業の費用として必要になりましたので、1億8,751万円の黒字となりました。

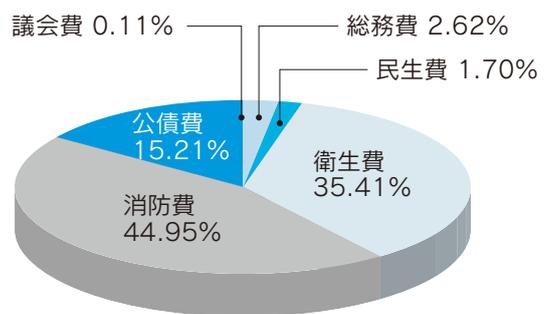
歳入 歳入合計 44億588万円

- 分担金及び負担金 36億118万円
 - 市町負担金
 - 荒尾市 5億8,274万円
 - 玉名市 15億1,545万円
 - 玉東町 2億6,422万円
 - 南関町 3億2,558万円
 - 長洲町 5億6,014万円
 - 和水町 3億5,305万円
- 使用料及び手数料 1億2,383万円
- 国庫支出金 9,446万円
- 県支出金 733万円
- 財産収入 73万円
- 繰入金 2,000万円
- 繰越金 2億8,686万円
- 諸収入 1億1,799万円
- 組合債 1億5,350万円



歳出 歳出合計 41億5,069万円

- 議会費 454万円
構成市町の議員で構成する組合議会の運営費
- 総務費 1億882万円
一般管理事務費、結婚活動支援事業費など
- 民生費 7,074万円
介護認定審査、障害者総合支援審査等の運営費
- 衛生費 14億6,965万円
各施設の管理運営費、フェスタの開催などにかかる経費
- 消防費 18億6,581万円
消防体制の充実強化にかかる経費
- 公債費 6億3,113万円
各施設の建設・整備・補修にかかった借金の返済



※上記の金額は全て1万円未満を切り捨てて表記しておりますので、合計と一致しない場合があります。また、グラフの割合は四捨五入しておりますので、合計が100%にならない場合があります。

お問い合わせ先
☎(09668) 72-5885

◇詳細は、ホームページにも掲載しております。
詳しくは総務課まで。

※バナー画像やリンク先URLなどはご用意ください。

●申込方法等

申請書は組合ホームページに掲載しています。

●掲載料 月額4千円

●申込方法等
組合ホームページのトップ画面にバナー広告を掲載できます。ぜひご利用ください。

「組合ホームページに
バナー広告を
掲載しませんか？」

●申込方法等

申請書は組合ホームページに掲載しています。掲載希望の60日前までにご提出ください。

●規格、掲載料(1回)

A 縦5cm×横16cm...5万円
B 縦5cm×横8cm...2万5千円

●発行回数

(10月号・1月号・4月号)

●発行部数

6万4千部

●発行回数

年3回

組合では、「広報ありあけ」に掲載する広告主を募集しています。

「広報ありあけ」に
有料広告を
掲載しませんか？」

荒尾・玉名地域
おどかけ情報

お祭り・体験編

玉名市 玉名観光ガイドの会と
まちあるき体験



“もっとたまな”を掘り起こそう「大俵まつり」や「西南の役戦跡」のある高瀬地区には「もっともっと宝がかくれている」を合言葉に“新・おもてなし”を発掘中。今秋玉名は「地域づくり全国大会」のおもてなしコースにもなっているので全国へ玉名観光案内のチャンス、会員は張り切っています。

- * と き * 11月12日(土)
- * と ころ * 高瀬裏川地区がおもてなしコース
- * お問い合わせ * 玉名観光協会 ☎(0968)72-5313

荒尾市 第23回あらお荒炎祭



4つの炎をテーマとして開催しているあらお荒炎祭は、今年で23回目を迎えます。賞金30万円をかけた「石炭積みレース」や、掛け声と共に会場を練り歩く「行灯パレード」、荒尾の魅力あふれる食材を堪能できる「ふるさと 四ツ星市場」など、大人から子どもまで楽しめる祭りです。

- * と き * 8月7日(日)
- * と ころ * ソフトボール場
- * お問い合わせ * 荒尾市役所産業振興課 ☎(0968)63-1421

南関町 なんかんぎおんさん



350年以上前から続いている伝統の祭りです。このまつりでは、高さが3メートルもある大蛇の山車が主役で、昼間は子どもたちが、夜になると若者たちが引き手となり、関町商店街一帯を練り歩きます。勇壮な大蛇山をぜひご覧ください。

- * と き * 8月6日(土)
- * と ころ * 南関町関町商店街一帯
- * お問い合わせ * 南関町商工会 ☎(0968)53-0120

玉東町 第29回ふれあいまつり



毎年金魚すくい大会やライブステージ、お楽しみ抽選会など、さまざまなイベントを開催しています。ぜひ家族みんなで遊びに来てください。祭りの最後を飾る花火にも注目です。

- * と き * 8月6日(土)
- * と ころ * 玉東町町営グラウンド
- * お問い合わせ * 玉東町夏まつり実行委員会 ☎(0968)85-3111

長洲町 九州金魚すくい選手権大会



大人から子どもまで約400人が金魚すくいの腕を競い合う公式大会で、優勝者には8月に奈良県の大和郡山市で行われる全国大会への出場権が与えられます。また、祭りでは、フリーマーケットや物産市など様々な催しも行われますので、ぜひお越しください。

- * と き * 5月3日(火)※祭は3日～4日
- * と ころ * 金魚と鯉の郷広場
- * お問い合わせ * 長洲町役場まちづくり課 ☎(0968)78-3219

和水町 第46回和水町古墳祭



8月6日・7日の2日間、江田船山古墳一帯で第46回和水町古墳祭を開催します。メインは2日目の「炎の宴」。約800人の松明行列で、闇夜に幻想的な光景が広がります。

- * と き * 8月6日(土)～7日(日)
- * と ころ * 江田船山古墳公園一帯
- * お問い合わせ * 和水町役場商工観光課 ☎(0968)86-5725



Information

イベント・行事(H28.4月~H28.9月)2市4町



4月		
2日	第14回あらお梨の花元気ウォーク あらおシティモール	荒尾市
3日	第8回中桜祭 野外音楽堂(市民プール前)	荒尾市
4月上旬	春の感謝祭 福祉村グラウンド	荒尾市
4月中旬	練り嫁行列 伊倉南北八幡宮	玉名市
4月中旬 ~5月上旬	山田の藤 山田日吉神社	玉名市
4月~5月	いちご狩り体験※予約 ふるさとセンターY・BOX	玉名市

5月		
1日~2日	第14回里山美術展 肥後民家村	和水町
3日	第13回岩本橋鯉のぼりまつり 岩本橋周辺	荒尾市
3日~4日	火の国長洲金魚まつり 金魚と鯉の郷広場	長洲町
3日~5日	みかんの花ミステリーウォーク 草枕温泉てんすい	玉名市
3日~5日	端午の節句・バラ展 南関御茶屋跡	南関町
8日	ばらまつり おもやい市民花壇	荒尾市
27日 ~6月11日	第26回高瀬裏川花しょうぶまつり 高瀬裏川水際緑地一帯	玉名市
5月下旬	玉名温泉夢まつりYOSAKOI 立願寺公園ほか	玉名市
5月下旬 ~6月上旬	ホテル鑑賞 岱明町開田川・梅林井尻川 横島小・天水町つづら谷	玉名市

6月		
4日	第8回荒尾市助丸区花菖蒲祭 助丸区花菖蒲園	荒尾市
5日	第13回荒尾市健康福祉まつり 荒尾総合文化センター	荒尾市
6月上旬	ハニーローザ収穫祭 玉東町内ハニーローザ園地	玉東町
6月下旬	まるごと田舎体験 田植え ふるさとセンター構体験田	南関町

7月		
10日	七夕まつり 南関御茶屋跡	南関町
7月中旬 ~8月31日	松原海水浴場 海開き 鍋松原海岸	玉名市

8月		
5日	玉名納涼花火大会 高瀬大橋上流付近	玉名市
6日	玉東町ふれあいまつり 玉東町宮グラウンド	玉東町
6日	なんかんぎおんさん 関町商店街一帯	南関町
6日	和水川舟べーロン大会 菊池川白石堰河川広場	和水町
6日~7日	第46回和水町古墳祭 江田船山古墳公園一帯	和水町
7日	第23回あらお荒炎祭 ソフトボール球場	荒尾市
12日	国際交流夏まつり 南関御茶屋跡	南関町
13日	第4回夏祭り盆踊り大会 多目的広場	和水町
8月下旬	西部地区繁栄会「ザ・夜市」 玉高通り商店街付近	玉名市
8月下旬	のしこら祭 金魚と鯉の郷広場	長洲町

9月		
17日	「少年の主張」県大会 玉名市民会館	玉名市
24日	第11回音と光の祭典 宮崎兄弟の生家の施設	荒尾市

●各市町の広報担当課●

- 荒尾市 秘書広報課 (0968) 63-1157
- 玉名市 秘書課 (0968) 75-1405
- 玉東町 総務課 (0968) 85-3111
- 南関町 総務課 (0968) 57-8500
- 長洲町 まちづくり課 (0968) 78-3239
- 和水町 まちづくり推進課 (0968) 86-3111

イベントインフォメーションについての詳細は、各市町へ直接お尋ねください。

●●● 第6回 ミニフェスタ開催 ●●●

と き:6月12日(日) 9:00~12:00

と ころ:第1リサイクル工房(旧第1清掃センター)
 玉名郡長洲町折崎213番地

第2リサイクル工房(旧第2清掃センター)
 玉名郡和水町久井原1714番地

【お問い合わせ】クリーンパークファイブ ☎(0968)78-4433



リサイクル品提供のお願い

皆さんのご家庭に眠っている家具や自転車などはありませんか?

提供品は、リサイクルや環境教育を目的としたフェスタの抽選品となります。その抽選で当選されたご家庭に提供し再利用していただくことにより、ごみの減量化につながっています。

もし皆さんのご家庭にまだ使えるけど、もうお使いにならなくなった家具や自転車などがございましたら、ぜひお持ちください。

お問い合わせ

- 東部環境センター ☎(0968)75-5050
 対象地域:玉名市(旧玉名市・旧横島町・旧天水町)・玉東町
- クリーンパークファイブ ☎(0968)78-4433
 対象地域:玉名市(旧岱明町)・南関町・長洲町・和水町